

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.11 総合防災訓練事業			担当課	安全対策課			予算費目名	款 09	項 01	目 04
事業概要 及び目的	災害時の被害を軽減するため、あらゆる災害に対する初動体制を確立し、応急対策等を迅速に行えるよう、総合防災訓練を実施する。また、市関係部局及び防災関係機関と連携して啓発活動を行い、「減災の推進」と「市民一人ひとりの防災知識と行動力の向上」を図り、もって防災体制の拡充及び強化を推進する。			成果指標 防災訓練参加者数	年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度		
					予算額(単位:円)	2,789,000	2,662,000	2,429,000	2,432,000		
					決算額(単位:円)	2,166,146	1,945,561	2,207,074			
					従事職員数	4	4	4			
事業の 位置づけ	章	3	安全で安心な暮らしができるまち	★左記施策(号)との結び付き 災害時における被害の軽減が図られ、安全で安心なまちづくりが推進される。	従事延べ日数	208	208	208			
	節	1	安全で安心なまちづくりの推進		民間活力の導入	現状は? : <input checked="" type="checkbox"/> 実現している <input type="checkbox"/> 将来可能性はある <input type="checkbox"/> 将来困難だが可能性はある <input type="checkbox"/> 余地なし					
	項	1	防災対策の充実			相手は? : <input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 市民活動団体 <input checked="" type="checkbox"/> 企業・学校等					
	号	1	総合的な防災対策の推進			形態は? : 防災関係機関のほか、民間企業や団体にも参加・協力していただいている。					

2. 進捗状況

				平成21年7月30日記入					平成22年7月30日記入					平成23年4月13日記入
年度	21 年度評価 (20 年度実施した事項についての評価)				22 年度評価 (21 年度実施した事項についての評価)				23 年度評価 (22 年度実施した事項についての評価)					
実施計画上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由
完了した事項	・東部地区において総合防災訓練を実施 開催日：9月28日(日) 訓練会場：実花小学校			引き続き、総合防災訓練 を実施していく。	・中部地区において総合防災訓練を実施 開催日：9月27日(日) 訓練会場：市役所前グラウンド			引き続き、総合防災 訓練を実施してい く。	・西部地区において総合防災訓練を実施 開催日：9月26日(日) 訓練会場：第七中学校グラウンド			引き続き、総合防災 訓練を実施してい く。		
継続している 事項	・総合防災訓練の実施				・総合防災訓練の実施				・総合防災訓練の実施					
未着手事項	・				・				・					
改善案				成果指標 実績値 1,315 人 達成率 131.5 %	平成 20 年度より、東部・中部・西部と 3 年計画で市民参加 型の訓練を実施している。 引き続き、効率的、実践的な訓練の実施に取り組む。			成果指標 実績値 1,730 人 達成率 173%	H23.3.11 に発生した東北地方太平洋沖地震の際、災害時に おける市・市民の行動、役割が訓練とは大きく懸け離れた部 分があったことから、再度、この度の災害時に得た教訓を活 かした訓練内容の検討し、実施を行う。			成果指標 実績値 1,780 人 達成率 178%		

3. 今後の方向性

				※課内協議を経て管理職が記入してください。	平成 21 年 7 月 31 日協議実施					平成 22 年 7 月 30 日協議実施					平成 23 年 4 月 13 日協議実施					
今後の方向性	成果の 方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止	休廃止	縮小	現状維持	拡充	○	成果の 方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止	休廃止	縮小	現状維持	拡充	○
*根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか?なぜその「コストの方向性」をえらんだか?別紙「評価の視点」を参照してください。	★上記を選択した根拠 今後も、災害時における地域住民による防災体制の強化が求められており、防災訓練を中心に市民の防災意識、知識、技術等の充実と高度化をはかる必要がある。					★上記を選択した根拠 今後も、災害時における地域住民による防災体制の強化が求められており、防災訓練を中心に市民の防災意識、知識、技術等の充実と高度化をはかる必要がある。					★上記を選択した根拠 今回の災害時に得た教訓を活かすべき訓練内容の抜本的な見直しを図り、実働的な行動訓練等の実施が必要である									
方向性を実現するため実施すること(改革案)	総合防災訓練については、引き続き市民が参加体験できる訓練を実施していく。地域における訓練、図上訓練等の実働的な訓練の実施について検討する。					総合防災訓練については、引き続き市民が参加体験できる訓練を実施していく。地域における訓練や、災害を想定し地図を使用して防災対策を検討する図上訓練等、実働的な訓練の実施について検討する。					総合防災訓練については、引き続き実施いたしますが、市民参加型での形式ではなく、市民主導型等、災害時に学び得た教訓を基に、各地域において市民と市が連携した行動訓練等が実施できるよう検討する。									
前年度改革案の実施状況	■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 市民の防災知識と意識の高揚を目指し、「見る訓練」から「参加、体験、活動する訓練」へと訓練内容を見直し、実施した。					□実施 □一部実施 □検討中 ■その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 3 年計画の最終年となる平成 22 年度の防災訓練を実施後、見直しを行う。					□実施 □一部実施 □検討中 ■その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 H23.3 に発生した地震により、市及び各地域での災害に対する行動認識の相違等があることから、再度、行動計画等を見直し、訓練実施に取り組む。									